

平成30年度青森市市民活動活性化事業

青函交流事業2018

活動報告書



特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク

青函交流事業2018

1 目的

少子高齢化による地域活力の低下が危惧されております。また一方では、北海道新幹線開業による道南と青森との新たな文化経済交流が期待されております。

本事業は、自然体験活動やアート活動を行う青森と函館両地域の活動団体との交流を通じて、青函圏の文化活動交流を定着させ、青函圏地域の交流人口の増大と地域活性化に結び付けようとするものです。

2 内容

事業3年目となる今年度は、「青函アート交流展2018inアウガ」並びに「青函アート交流展2018Part2」を開催し、両地域のアーティスト交流を促進させると共に青森ねぶた祭や青函トンネル30周年を盛り上げました。

(1)「青函アート交流展2018inアウガ」

日 時：平成30年7月29日(日)～8月2日(木)

場 所：青森市アウガ1階 駅前スクエア

内 容：青函アート交流展と福士正一の現代舞踊。

(2)「青函アート交流展2018Part2」

日 時：平成30年11月1日(木)～4日(日)

場 所：青森市民美術展示館2階・4階

内 容：青函2人展(2階)と青函きょうめい展(4階)を同時開催。

(3)自然体験活動写真展

開催日：平成30年12月8日(土)～10日(月)

場 所：アスパム2階エネルギー館

内 容：8月11日(山の日)の自然体験活動の写真展。

青函アート交流展2018inアウガ

昨年度、函館市の金森赤レンガ倉庫ベイギャラリーで開催した「青函アート交流展in函館」に引き続き、今年度は青森で開催です。7月29日～8月2日の5日間、アウガ1階の駅前スクエアを会場として「青函アート交流展inアウガ」を開催しました。函館市からは波多仲芳晴氏(絵画)と、ささきようすけ氏(絵画)、大野希氏(写真)の3名が参加、青森の竹村松博(彫刻家)、一戸元(バードカービング)、鶴谷美智(布絵)、倉谷まゆみ(絵画)、木村利光(ペンダントづくり体験)の5名が参加しました。

8月2日は青森ねぶた祭り初日、新町通りは観光客やハネトたちが行き交っている中、突然 福土正一氏の現代舞踊が始まります。舞踊に合わせて壁いっぱい筆を踊らせるのは、おどろ木ネットワーク理事長の竹村松博と倉谷まゆみさん。このパフォーマンスは、「青函アート交流展inアウガ」の目玉として主催者が用意したもので、祭りを待つ観光客を魅了しました



■青函アート交流展inアウガの会場



青函アート交流展2018Part2

11月1日～4日まで、青森市民美術展示館で開催しました。2階会場は、函館の画家・波多仲芳晴氏と青森の彫刻家・竹村松博氏とのに「青函2人展」、4階会場は函館から参加した、ささきようすけ氏と大野 希氏に青森市の作家を含めた15名による「青函きょうめい展」という2会場を使った初めての試みでした。RAB青森放送の取材・放映もあり、入場者は「青函2人展」が328名、「青函きょうめい展」が707名という盛況ぶりでした。

平成30年度青森市市民芸術活性化事業

青函 Art 交流展 2018 Part2

11月 1～4
10:00 ~ 17:00
最終日 15:00まで
全場 入場無料

協賛組合タケケン美術館学館 (青森市民美術展示館)

青函きょうめい展 4F

- 大野 希 一写真
- ささきようすけ 一版画
- 佐藤京雄 一木のこも
- 一川 元 ユートン&ピソグ
- 萩原幸子 一銅像
- 木村利光 一アクセサリー
- 藤田まゆみ 一版画
- 藤田静平 一スタンドグラス
- 藤田静平 一ストラップ
- 佐藤真子 一連続布で洋服
- 藤田静平 一おどろ木
- 藤田静平 一布紐と布バック
- 中村まゆみ 一二人劇し
- 野田 彦 一写真
- 堀井 強 一個性彫刻ガム

青函2人展 2F

■波多仲芳晴 (版画)
1938年北海道厚岸町生まれ、1958年札幌にて彫刻芸術を志す。彫刻を中心に、『ユー・クワッパ』の『ユル』、『愛する者の肖像』等、多くの版画を制作。

■竹村松博 (彫刻)
1950年青森県平井町生まれ、(青森市在住)。1975年の石巻移住後、これまでで10回入道、現在は彫刻家、青森県彫刻会会長。

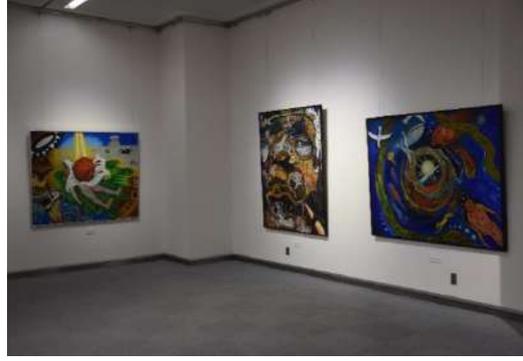
無料 彫刻のブレイクゾーン

主催 特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク

■青函2人展

「青函2人展」は、青函で活躍しているアーティストの作品を広く紹介すると共に、格調高い雰囲気の中で市民に楽しんでもらうことを趣旨としたのです。波多仲芳晴氏は100号の絵画15点、竹村松博氏は等身大が5点、中小作品を合わせて10点の木彫作品を展示しました。





■青函きょうめい展

「青函きょうめい展」は、来場者に作品鑑賞と合わせて”ものづくり体験”を楽しんでもらおうという趣旨で開催しました。4階会場は、「積み木」や「木琴」、「ペンダントづくり体験」や「バードカービングづくり体験」、「布絵づくり体験」、「おどろ木づくり体験」等で大いに賑わいました。





葛西幸子さんの「裂き織」



佐藤育子さんの「直線布で洋服」コーナー



鶴谷美智さんの「布絵」体験コーナー



野坂登さんの写真の前に立つ波多仲さん



一戸元さんのバードカービング。



函館から来たお客様。



木村利光さんの「アクセサリーづくり」



クルマのおもちゃで遊ぶ子ども



中村正子さんの「こぎん刺し」体験コーナー



澤田新平さんの「おどろ木」体験コーナー



板垣常雄さんの「大人の積木」で遊ぶ親子



「大人の積木」で遊ぶ子どもたち



福井強さんの「善知鳥彫りダルマ」



倉谷まゆみさんの絵画



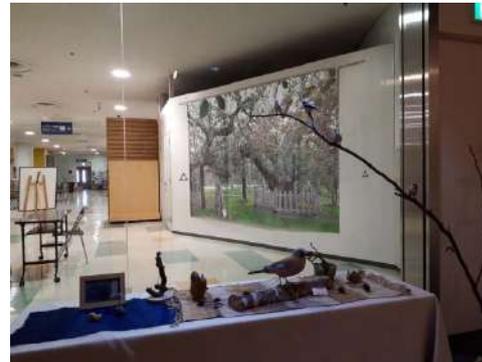
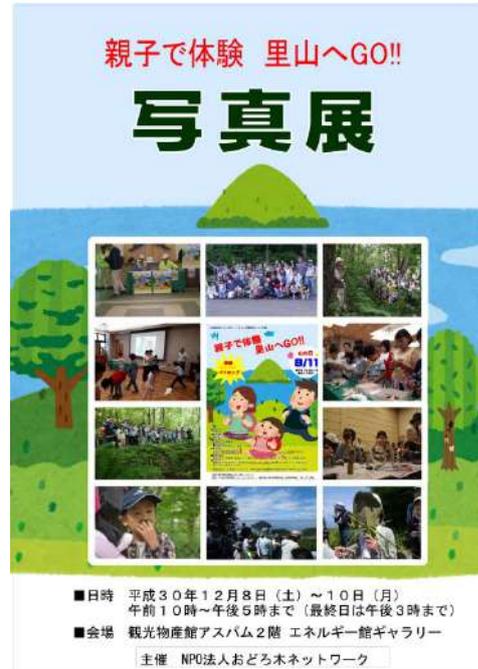
積み木で遊ぶ子ども



佐々木奥男さんのストラップ

自然体験活動写真展

平成30年12月8日から10日までの3日間、青森県観光物産館アスパム2階のエネルギー館ギャラリーにおいて、自然体験活動写真展を開催しました。写真は平成27年から毎年「山の日」に青森市浅虫で開催されている自然体験イベントの様子を紹介したものです。入場者の中には自分たちが写っている写真を見つけて喜ぶご家族もおりました。



■取材・テレビ放映・投稿

8月2日 東奥日報

10月号 青函”考”路2018秋号に投稿

10月 北海道新聞

11月1日 RAB青森放送 RABニュースレーダーで放映



終りに

今年で3年目となった青函交流事業は、「青函アート交流展2018inアウガ」、「青函アート交流展2018Part2」、「自然体験活動写真展」の予定したイベントを無事終えることができました。ご協力ご支援をいただいた皆様方には紙面を借りて御礼を申し上げます。

今年は、函館と北斗市から波多仲芳晴氏、ささきようすけ氏、大野 希氏の参加が実現し、来年は「はこだてトリエンナーレ2019」に、おどろ木ネットワークからアーティストの参加が°決まっております。

■波多仲 芳晴氏からのメッセージ

「青函アート交流展」が、年代・ジャンル・地域を超えて作家たちが集うアートの祭典として発展することを願う。アートの力が青函両市とその周辺を巻き込み、そこに住む人々を活性化し、地域が発展することが私の望みだからだ。



〒038-0003

青森県青森市大字石江字江渡106番地227

特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク

Tel 017-781-4612 Fax 017-781-4612

URL <http://www.odorokikobo.com/>

E-mail odoroki7@bc4.so-net.ne.jp

